

「仲間とともに赤船祭を成功させよう ~現代社会の見方・考え方を通して~」
 ~ 昨年を超える赤船祭にするためにはどうすればよいか ~

本単元で育成する資質・能力

(教科) 課題発見力, 調整力 (学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和3年9月21日 12:55~13:45
- 2 学年 第3学年2組 (男子15名 女子16名 合計31名)
- 3 場所 本館3F 3年2組教室
- 4 単元について

○ 教材観

本単元は、中学校社会科学学習指導要領の内容A(2)に該当する単元である。ここでは、「現代社会を捉える枠組み」として、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割を、多面的・多角的な考察と表現活動を通して学習することを目的としている。現代社会を捉え、考察し構想する際に働かせる、概念的な枠組みの基礎として、「対立と合意」「効率と公正」などがあること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義や個人に求められる責任について、具体的な事例から理解させるように単元が設定されている。

○ 生徒観

本学級の生徒を対象に行ったアンケートの結果は次のとおりである。【学級(学年全体)】

質問	「よくあてはまる」の割合	否定的意見の割合
①自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	50.0% (52.4%)	10.7% (20.3%)
②生徒間で話し合う活動(ペア・グループ)では友達の意見を受け止め、自分の考えを伝えていますか。	53.6% (52.4%)	14.2% (15.4%)
③自分の考えや発表する場面では、自分の考えが伝わるように、資料や文章、話の組み立てなど工夫をして発表していますか。	25.0% (22.6%)	28.5% (25.0%)
④授業で与えられる課題を解決するために、まずは自分で考え、自分から取組んでいますか。	50.0% (38.1%)	10.7% (14.3%)
⑤各教科で学んだ知識を、他の教科で生かしながら、自分の考えをまとめたり、表現することができますか。	32.1% (31.0%)	21.4% (20.3%)

結果から、本学級および学年全体の傾向として次の2つのことが分かる。ひとつ目は、授業と他者との関わりへの積極性である。アンケート①、②、④の項目から、授業で与えられる課題に取り組もうとする姿勢と、課題を解決するために他の生徒と意見交流をすることに前向きに考えている生徒が多いと分かる。意見を練り合う場面では、自分と違う意見にも耳を傾けることができる。一方で、アンケート③の項目にみられるように、自分が「なぜそのように考えるのか」や、「グループとしての意見」、「意見を集約したプロセス」などをアウトプットすることに苦手意識を持っている生徒が多いことが分かった。ふたつ目の傾向は、アンケート④にある、教科横断的な視点で学習に取り組んでいる生徒が少ないことである。教科で学んだ知識を他の教科に生かすことは、本校が「赤船祭・サバプロ」等の学校行事を核にして、カリキュラムマネジメントを進めていく上で必要な視点である。具体的な場面設定をするなど、意図的・計画的な指導が今後さらに必要であることが分かった。

○ 指導観

指導に当たっては、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みに「対立と合意」「効率と公正」があることを知識としてまずは定着させたい。今後の公民的分野の学習（政治・経済・国際社会）を進める上で、これらの枠組みを用いて、生徒一人一人に価値判断をさせていくためである。

また、所属する集団や所属員に関わるトラブルについて、どのような決定の仕方が望ましいのかを話し合い、決定したことを「きまり」として作ることを通して、「対立」が起り、議論を通して「合意」に至る際、より少ない資源を使ってより大きな成果が得られるようにしているか（効率）、全員が参加して決めているか、特定の集団や一部の人に不利益にならないようにしているか（公正）など、所属する集団や個人と社会との関係、きまりの役割について考察・表現できるように工夫をしたい。そのために、本校の学校行事である「赤船祭」を課題として取り上げ、生徒達の議論した内容が実際の学校行事に生かされていくことを体感させて、他の教科の学習やこれからの実生活においても、現代社会の見方・考え方が働かせられるように指導をしていきたいと考えている。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	表現力・コミュニケーション能力			主体性	
レベル1	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	（話す speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		（話す tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		（話す talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- 個人と社会との関係，社会生活における物事の決定の仕方，きまりの役割を理解し，多面的・多角的に考察・表現する活動を通して，身の回りの出来事や現代社会の課題を捉える際に「対立と合意」「効率と公正」の視点から判断し，課題の解決に向け，主体的に関わろうとする態度を養う。

7 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①自分が家族や地域社会などの社会集団に所属していることや，人間が社会的存在であることを理解している。</p> <p>②効率と公正の意味と，重要性について具体的な事例から理解している。</p>	<p>①決まりが必要な理由について，社会集団と個人の間を，対立と合意の視点から考察・表現している。</p> <p>②みんなが納得できる解決策の在り方について，対立と合意，効率と公正に着目して考察し，表現している。</p> <p>③ルールを見直す際の見直し方について，対立と合意，効率と公正に着目して考察・表現している。</p> <p>④社会生活における物事の決定の仕方，個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察・表現している。</p>	<p>①社会集団における対立の存在に気づき，合意を目指すことが重要であることについて，自らの学習を振り返りながら，主体的に探ろうとしている。</p> <p>②身の回りの対立関係や問題点を捉え，課題解決のためにどうすればよいか，効率と公正の視点から，主体的に合意形成を図ろうとしている。</p>

8 指導計画（全6時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			知 技	思 判 表 表	態 度	評価規準	資質・能力 （評価方法）
課題の設定	1	社会集団の中で生きる私たち （1時間）	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 自分が家族や地域社会などの社会集団に所属していることや，人間が社会的存在であることを理解している。（ア①） 社会集団における対立の存在に気づき，合意を目指すことが重要であることについて，自らの学習を振り返りながら，主体的に探ろうとしている。（ウ①） <p>【Q】 身の回りの「対立」を思い出してみよう。</p>	課題発見力 主体性 （話し合いの様子）
		<p>本質的な問い 身の回りにある対立関係や問題点を捉え，合意形成するにはどうすればよいだろうか。</p> <p>単元を貫く問い（探究課題の萌芽） 赤船祭を昨年のもものよりも更に良くしていくためには，どうすればよいだろうか。</p>					
情報収集	2	決まりを作る目的と方法 （1時間）		○		<ul style="list-style-type: none"> 決まりが必要な理由について，社会集団と個人の間を，対立と合意の視点から考察・表現している。（イ①） <p>【Q】 決まりやルールはどうやって決めるのが良いでしょうか。</p>	調整力 表現力 （記述内容）

	3	効率と公正 (1時間)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・効率と公正の意味と、重要性について具体的な事例から理解している。(ア②) ・みんなが納得できる解決策の在り方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察し、表現している。(イ②) <p>【Q】 みんなが納得する解決策を作るために、どのような視点で考えればよいでしょうか。</p>	調整力 表現力 (記述内容)
整理・分析	4	決まりの評価と見直し (1時間)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを見直す際の見直し方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察・表現している。(イ③) <p>【Q】 Google の会議では、発言をしない人は次から呼ばれなくなることにについてどのように考えますか。</p>	調整力, コミュニケーション能力 表現力 (記述内容) (話合いの様子)
まとめ・創造・表現	5	仲間とともに赤船祭を成功させよう (1時間)【本時】	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における物事の決定の仕方、個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察・表現している。(イ④) ・身の回りの対立関係や問題点を捉え、課題解決するためにどうすればよいか、効率と公正の視点から、主体的に合意形成を図ろうとしている。(ウ②) <p>【Q】 赤船祭を昨年よりもさらに良くしていくためにはどうすればよいだろう。</p>	課題発見力, 調整力, コミュニケーション能力 主体性 (記述内容) (話合いの様子)
実行・振り返り	6	単元のふりかえり (1時間)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における物事の決定の仕方、個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察・表現している。(イ④) 	課題発見力, 表現力 (パフォーマンス課題)

単元を貫く問いの終結

赤船祭を昨年よりも良くしていくためには、話合いの場面から、生徒一人一人が意見を発信し、少数意見にも耳を傾けて協議することが必要である。生徒の多様性を認め合い、行事の中に、生徒一人一人が活躍できる場を考えるなど、公正さの視点が必要だ。【公正の視点】

「コロナ対策」によって入場制限や接触制限などあることを理解した上で、利用できる資源を使って、何を省略・制限するべきか、どんな気持ちを大切にすべきかを話合い、どうやったら行事のねらいが達成できるかを考えるなど効率の視点が必要だ。【効率の視点】

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 効率と公正の視点を通して、赤船祭をどのように運営したらよいか自分の意見を持つことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・社会生活における物事の決定の仕方、個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察・表現している。(イ④)
- ・身の回りの対立関係や問題点を捉え、課題解決するためにどうすればよいか、効率と公正の視点から、主体的に合意形成を図ろうとしている。(ウ②)

(3) 準備物

- ・ワークシート, jam ボード (chromebook), ホワイトボード

(4) 学習の流れ (5 時間目 / 全 6 時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 【評価方法】
1 既習事項の確認。[3分]		
①「効率と公正」の意味。 ②きまりを見直す時はどんな時か。		
2 本時の学習課題を設定する。[5分]		
③ 今年の赤船祭のダイジェスト映像を見た後、課題を提示する。	<div data-bbox="233 1249 1362 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題 今年の赤船祭を超える赤船祭にするためには、どうすればよいだろう。 </div>	
3 本時のねらいを確認する。[1分]		
<div data-bbox="233 1435 1362 1525" style="border: 3px double black; padding: 5px;"> ねらい 「効率」「公正」の視点を使って、学習課題の解決ができる。 </div>		
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[17分]		
④ 今年の赤船祭の成果と課題を洗い出す。 ⑤ 今年の赤船祭をどのように変えていきたいか意見を自由に書き出す。 ⑥ ⑤の内容を「効率」「公正」どちらの視点で考えればよいか振り分ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ jam ボード使って班ごとに活動する。 ⑤の例 「練習時間をもっと増やしたい」 「こんな道具を使いたい」 「保護者が参観できるようにしたい」 ◆⑥の視点 <u>効率</u>…無駄や無理がないように資源を使い、全体の利益や成果につなげることができるか。 <u>公正</u>…手続き・機会・結果等で、不当に不利益を被る人がいないか。 	

導入の工夫

単元を貫く問い

ICTの活用

ホワイトボードの活用

5 課題解決について発表をする。[14分]		
⑦jamボードの内容の交流 ⑧できることとできないこととの協議 ⑨wボードの内容の発表	◆⑧班ごとにホワイトボードで優先度の順位づけをする。(効率:青, 公正:赤)	
6 学習のまとめをする。[5分]		
⑩まとめを書く。		
<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価 赤船祭をよりよくしていく提案の中に、「効率」と「公正」の両方の視点があり、2つの視点の定義が明確である。</p> <p>B評価 赤船祭をよりよくしていく提案の中に、「効率」と「公正」のどちらかしかない。または、提案内容の視点があいまいである。</p>		
7 本時を振り返り,次時につなげる。[5分]		
⑪クラス内で合意形成する。 ⑫ふりかえりを書く。	◇クラスとして、どの班の意見を採用したいか、理由を確認する。	
<p>生徒の振り返りの例</p> <p>・赤船祭をよりよくしていくためには、今までの内容の見直しが必要かどうか、まずは成果と課題を振り返ることが大切だと分かった。見直しをする時には「効率」と「公正」の視点で考え、一人一人の意見を大切にしながら話し合いを進めることが大切だと分かった。今日習ったこと(現代社会の見方・考え方)を、これからの赤船祭の練習や公民の授業で活用できるようにしたい。</p>		

【パフォーマンス課題】

あなたは今年度、赤船祭実行委員をすることになりました。コロナ渦で行われる赤船祭は2回目で、去年は生徒会執行部の意向も聞き取りながら、開催されなくなった体育大会と文化祭を合体させ、保護者の参観を制限したり、規模を縮小して感染対策をした上で行事を行いました。行事が終わった後、生徒の中には「達成感」がある一方で、「もっとこうしたらよかった」という意見もあったようです。あなたはこれから赤船祭実行委員として、今年の赤船祭をどのようなものにするかクラスで話し合いを行った後、生徒会に結果を提案しなければなりません。昨年度の赤船祭を超える「感動と涙と笑顔のある赤船祭」にするために、あなたはどのようなアイデアを生徒会に提案しますか。

【ループリック】

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	昨年度の赤船祭の成果と課題を整理した上で、何を変えるべきかを述べている。その提案の中に、「効率」と「公正」の両方の視点があり、2つの視点の定義が明確である。
B（合格）	赤船祭をよりよくしていく提案の中に、「効率」と「公正」の両方の視点があり、2つの視点の定義が明確である。 (提案の裏付けとなる、昨年度の成果と課題の評価がない)
C（乗り越えさせたい実態）	赤船祭をよりよくしていく提案の中に、「効率」と「公正」のどちらかしかない。または、提案内容の視点があいまいである。

(5) 板書計画

単元名 仲間とともに赤船祭を成功させよう

ねらい 「効率」「公正」の視点を使って、学習課題の解決ができる。

学習課題 昨年の赤船祭を超える赤船祭にするためには、どうすればよいだろう。

昨年の
赤船祭の
写真など

昨年の赤船祭の
成果と課題

班のホワイトボー
ド【提案内容】

班のホワイトボー
ド【提案内容】

班のホワイトボー
ド【提案内容】

班のホワイトボー
ド【提案内容】

班のホワイトボー
ド【提案内容】

班のホワイトボー
ド【提案内容】